

# はじめに

この防災ハンドブックは、災害時にすべての人が共に助け合うために、男女共同参画や人権の視点に基づいた防災体制を考えるために作成しました。

東日本大震災や熊本地震などの過去の災害の教訓から、災害発生時の対応では、男女共同参画や人権への配慮の視点が必要だと言われています。

みなさんのお住いの地域にも、乳幼児、妊産婦、高齢者、障害のある人、外国人、性的少数者など、普段から配慮の必要な人が暮らしていますが、災害時には特に、配慮が必要となります。

また、女性と男性では物資や環境のニーズに違いがあったり、受ける影響なども異なります。これまでの災害では、避難所の責任者に女性が少ないため、女性の意見や要望が届きにくいといった問題や、性別によって役割が固定された結果、一方だけに負担がかかってしまうといった問題がありました。

災害時には、「すべての人が共に助け合い、責任を分かち合う」という視点が必要となります。

災害が発生した場合をイメージし、過去の災害で起こったこと、望ましい避難所の在り方について考えてみましょう。